

1. 事業構想評価

(1)事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

目標	メニュー	指標	開始年度	目標年度	達成状況															備考
					1年目(開始年度)			2年目(R1)			3年目(R2)			4年目(R3)			5年目(目標年度)			
					目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安定供給体制の整備推進	間伐材生産	間伐材生産経費(円/m ³)の減少率	H30	R4	-	-	-	-	-	-	3	-	-	4	-	-	<u>5</u>	-	-	
	高性能林業機械等の整備	労働生産性(m ³ /人・日)の増加率	H30		11	35	318%	12	-	-	13	-	-	14	-	-	<u>15</u>	-	-	
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	H30		-	-	-	2	-	-	2	-	-	2	-	-	<u>2</u>	-	-	
		木造化(補助率15%以内)	H30		4	7	175%	4	-	-	4	-	-	4	-	-	<u>4</u>	-	-	
		木質化	H30		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		木質バイオマス供給施設整備	事業費当たりの木質バイオマス利用量(m ³ /百万円)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
木質バイオマスエネルギー利用施設整備			-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

(注)

- 1 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 3 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 4 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。

2. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進												
自立的林業経営活動の推進												
山地防災情報の周知	山村地域の防災・減災対策	研修会等の開催数	0	回	H30	6	回	R1	13	217%	R1	
森林資源の保護	森林環境保全の推進	保安林指定の推進	1,026	百ha	H30 (H28)	1,054	百ha	R1	1,056	100%	R1	「令和元年度保安林又は保安林施設地区に関する事務の報告書について」(R2.3.31現在)
マーケティング力ある林業担い手の育成	担い手確保・育成対策	認定事業主数	19	事業体	H30	20	事業体	R1	17	85%	R1	県認定事業体数 (R2.3.31現在)
	林業労働災害撲滅プロジェクト	労働災害発生件数(減少)	32	件	H30	30	件	R1	26	115%	R1	山口労働局資料 (R2.3.31現在)
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)	素材生産量	41	千m3	H30	47	千m3	R1	40	84%	R1	達成状況報告 令和2年7月20日
木材利用及び木材産業体制等の整備推進												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進		
自立的林業経営活動の推進		
山地防災情報の周知	山地災害危険地区の把握を行うとともに、山地災害に関する講習会等を実施することにより、県民の山地防災に対する意識向上が図られた。	近年の豪雨災害により、集落単位での防災意識の向上や被災時の協力体制が重要とされています。ついては、更なる周知を図るため、集落単位等の中小規模な講習会で開催回数を増加させていく必要がある。
森林資源の保護	【森林環境保全の推進】 保安林を中心に巡視活動を行うとともに「やまぐち農林水産業成長産業化行動計画」等の目標に基づき保安林の指定を推進した。保安林の指定面積は、目標値を達成した。	【森林環境保全の推進】 森林の公益的機能の維持増進のため、引き続き保安林等の巡視活動に取り組むとともに、機能の発揮が求められる森林について計画的に保安林の指定を推進する。
マーケティング力ある林業担い手の育成	林業事業者への面談や情報提供等により、林業事業者の育成を行ったが、森林組合広域合併に伴い目標の達成には至らなかった。また、林業認定事業者を中心とした労働災害防止講習会等を開催した結果、労働災害発生件数を減少することができた、	更なる林業認定事業者の育成・確保を実施する。 また、引き続き労働災害防止講習会を開催し、労働環境の改善のため労働災害の防止に努める。
林業経営体の育成	県が選定した経営体を実施する高性能林業機械のリースを支援したが、機械導入後1年目における生産量は、現状値とほぼ横ばいだった。	引き続き素材生産システムの効率化に必要な高性能林業機械のリースを支援し、労働生産性の向上と木材供給量の増大を図る。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。

3. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考	
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)		
木材利用 及び木材 産業界制 等の整備 推進	木造公共建 築物等の整 備	木造公共 施設整備	長門市	①公共施設 ②木造公共施設 ③日置保育園 日置ボランティアセンター	平成30年度	施設利用者数(人)	2,530					上段:計画	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> JAS構造材 87.2146m3 地域材及び 合法木材 185.3720m3 川上との連 携(無) </div>
						0 → 2,530	2186				中段:実績		
							86%				下段:達成率		
						単位面積当たりの 地域材利用量 (m3/m2)	0.181				上段:計画		
						0 → 0.181	0.185				中段:実績		
							102%				下段:達成率		
						単位面積当たりの事業費 (円/m2)	276,400				上段:計画		
						0 → 276,400	248,260				中段:実績		
							90%				下段:達成率		
						CLT利用量 (m3)	0				上段:計画		
0 → 0	0				中段:実績								
						-			下段:達成率				
安定供給 体制の整 備推進	高性能林業 機械等の再 整備	林業機械 作業シス テム整備	(株)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③ロングリーチグラブ	平成30年度	素材生産量 (m3)	5,300					上段:計画	
						3,823 → 8,400	7,875				中段:実績		
							149%				下段:達成率		
						素材生産性(m3/人・日)	7				上段:計画		
						6 → 8	8.1				中段:実績		
							116%				下段:達成率		
						稼働時間 (時間)	231				上段:計画		
											中段:実績		
											下段:達成率		

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	
安定供給 体制の整 備推進	高性能林業 機械等の再 整備	林業機械 作業シス テム整備	(株)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③フォワーダ	平成30年度	素材生産量 (m3)	5,300					上段:計画
						3,823 → 8,400	7875				中段:実績	
						149%				下段:達成率		
						素材生産性(m3/人・日)	7				上段:計画	
6 → 8	8.1				中段:実績							
	116%				下段:達成率							
	稼働時間 (時間)	468				上段:計画						
						中段:実績						
						下段:達成率						
林業経営 体の育成	林業経営体 育成対策(林 業機械リー ス)	大林産業(株)	フォワーダ	平成30年度	素材生産量 (m3)	23,600					上段:計画	
					17,544 → 23,600	18,633				中段:実績		
					79%				下段:達成率			
	稼働時間 (時間)	965				上段:計画						
						中段:実績						
						下段:達成率						
林業経営 体の育成	林業経営体 育成対策(林 業機械リー ス)	大林産業(株)	グラップル	平成30年度	素材生産量 (m3)	23,600					上段:計画	
					17,544 → 23,600	18,633				中段:実績		
					79%				下段:達成率			
	稼働時間 (時間)	1,318				上段:計画						
						中段:実績						
						下段:達成率						

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備考
							1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)	目標年度 (令和5年度)	
林業経営体の育成	林業経営体育成対策(林業機械リース)		大林産業(株)	プロセッサ	平成30年度	素材生産量 (m3)	23,600					上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						17,544 → 23,600	18,633	79%				
林業経営体の育成	林業経営体育成対策(林業機械リース)		山口県東部森林組合	グラッブル	平成30年度	素材生産量 (m3)	23,800					上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						23,000 → 27,500	21,182	89%				
						稼働時間 (時間)	1,375					上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						稼働時間 (時間)	864					上段:計画 中段:実績 下段:達成率

(注)

1 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。

2 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績/各年度の目標値)を記載すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。

3 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。

4 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

5 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。

(1)要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の7の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入するとともに、同表の7の(2)の⑥に係る本事業において整備する施設の建設工事を行う者のうち地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に基づく登録実施機関への登録状況(登録番号等)を記載すること。

(2)調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。

6 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。

7 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を備考欄に記載すること。

8 別表1のⅠの2の「10 林業機械リース支援」の(2)の⑨の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、

個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。

9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の

2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

(山口県)

(単位:千円)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考	
							運用開始年度	1年目 (令和元年度)	2年目 (令和2年度)	3年目 (令和3年度)	4年目 (令和4年度)		目標年度 (令和5年度)
高性能林業機械等の再整備	林業機械作業システム整備	(株)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③ロングリーチグラブ	平成30年度	収入	50,000	49,943	67,378					
					支出	45,500	45,186	84,369					
					収支差	4,500	4,757	-16,991					
					収入のうち 公的資金等								
高性能林業機械等の再整備	林業機械作業システム整備	(株)吉岡土建	①林業機械導入 ②高性能林業機械 ③フォワーダ	平成30年度	収入	50,000	49,943	67,378					
					支出	45,500	45,186	84,369					
					収支差	4,500	4,757	-16,991					
					収入のうち 公的資金等								

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

- | | | | | |
|---------------|-----------------|---------------------|------------------------|----------------------|
| (1) 木材製材施設 | (6) 木材加工施設 | (11) 木材集出荷販売施設 | (16) 品質向上・物流拠点施設 | (21) コンテナ苗幼苗生産高度化施設等 |
| (2) 集成材加工施設 | (7) 木材材質高度化施設 | (12) 森林バイオマス再利用促進施設 | (17) チップ加工施設 | |
| (3) プレカット加工施設 | (8) 特用林産物生産施設 | (13) 木質エネルギー等利用促進施設 | (18) 新しい木材活用のための加工供給施設 | |
| (4) 丸棒加工施設 | (9) 特用林産物加工流通施設 | (14) 木質バイオマス供給施設 | (19) 直交集成板加工施設 | |
| (5) 杭加工施設 | (10) 廃床等活用施設 | (15) 合・単板加工施設 | (20) コンテナ苗生産基盤施設等 | |

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

イ 林業機械作業システム整備【素材生産型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

- 2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)から(21)までを、1のイに該当する場合は機種を記載すること。
- 3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)
- 4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。
- 5 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。
- 6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。
- 7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。